馬 寧さんの日記

はじめの日記

2010.09.02

　昨日ボランテイアの池田さんと春日さんと一緒に埼玉県の道を見学しました・僕たちは駅、図書館、市役所、１００円店などのいろいろのところへ行きました。　埼玉県をて通じて、日本の一番特色がある点は効率的で便利だと思います。たとえば、図書館で、人々は作家の名前のカードで本を速く探すことができます。そして、読んだ後で、元のところに戻らなくてもいいですが、前の専用の本棚に返すことができます。とても便利ですね！　昨日は二時間歩いてとても疲れましたけれど、とても楽しかったです。最後に、ボランテイアの池田さんと春日さんに　お疲れ様でした　と言いたいと思います。　じゃ、今日はこれで終わります。

これは日本語で投稿されたものです

馬 寧さんの日記

前期まとめ

2010.09.18

9月1日に（留学して1日目） 埼玉県の地元ボランティアのおじいさんとおばあさんに連れられ埼玉の大通りを散策。その日に送った写真もある。 9月2日（留学して2日目） 僕たちは心連心中国高校生招待プログラムの第5期生。国際交流基金会の方が白*雪純子という第2期生の方（彼女は中国人で、お父さんが白という苗字。それなのに日本式の名前にしたということにちょっと反感を覚えた）を読んで僕たちに色々話をしてもらった。彼女は東北出身で、しゃべるときにかなりなまっていた。京都の立命館高校に行っていたそうだ。話によると立命館付属の学校はどこも国際交流にすごく力をいれているそうで、しかも留学生に対して最も良い教育環境を整えていてくれているから、心配しなくてよいのだと言っていた。 9月3日（出発間際に別れの挨拶。この日はすごく内容の濃い一日だった） 朝車を走らせ日本外務省へ。外務省国際交流部広文交部長の熱烈な歓迎を受けた。すごく親切な人で、かつて日中国交正常化のころには天津で勉強したこともあったそうだ。僕たち天津から来た学生を見つけると、たくさん話をしてくれて、天津の人はみんな友好的で、面白いと言ってくれた。 午後はまず駐日中国大使館の教育処（教育処は大使館直属の機関ではあるが、大使館のある場所からはかなり離れたところにある）に行き、駐日中国大使館教育参事官孫建明公使から熱烈なもてなしを受けた。彼は僕たちに自分が日本語を勉強した経緯を話してくれ、さらに、今回僕たちが与えられた1年というこの貴重な機会を大切にしてしっかり勉強し、そして日本語のレベルを向上させ、たくさん日本人の友達を作り、今回の自分たちの使命をしっかり成し遂げられるよう激励して下さった。 夜には国際交流基金会の方々が僕たちのために歓迎会を開いてくれた。かつて駐中大使だった方で、今は基金会の第一人者である阿南所長が僕たちに向けてスピーチをして下さった。そのあと1時間ほどの“歓談”の時間を挟み、そのあとはいよいよホストファミリーや学校の先生が自分の受け入れる生徒を迎える時間。みんなすごく楽しそうに話している中、僕と他に4、5人の学生がちょっと寂しそうにしていた。僕たちは行く場所が遠いため、迎えに来てくれる人がいなかったのだ。 でもすぐにまた2人友達が出来た。 一人は日中友好協会東京都連合会委員長の北中先生。僕に北海道の色んな文化を教えてくれて、メモ帳に僕の名前を書き、僕にも名刺を残してくれた。もしなにかあったら連絡してくれれば、力になると言ってくれた。 もう一人は川崎市交流協会交流事業担当の小島さん。彼女の娘さんは昨年教育支援のためアフリカのガーナへ行き、今年帰ってくるそうだ。彼女が言うに、彼女は自分の娘が他の国に行ってしまうことがすごく寂しくて、だから今中国にいる僕の両親の気持ちがすごく良くわかるらしい。でも彼女は自分の娘のやってることが正しくて、この社会に対して有益なことをしているんだということも分かっているから、支持することにしたのだそうだ。僕は彼女が偉大な母親だから、優秀な娘を持ったんだと言った。彼女は僕の日本語を褒めてくれて、彼女が習いたいというから、僕は中国語も少し教えてあげた。 心から日本人の友好的な性格と優しさを感じた一日だった。 9月4日（住むところへ向かう） 朝お弁当を食べ終わると、基金会のスタッフの方が今月の残りの7千円をくれた。ちなみに前の3千円はもう支給済み。 お昼になってようやく立命館から僕を迎えに来た中川淳先生が見えた。彼は僕に向かって簡単に立命館の紹介をしたあと、僕たちは一緒に昼食を食べに行った。午後、僕たち38人は2つのグループに分かれ、片方は高速道路へと向かい、もう片方は飛行機に乗った（僕はもちろん後者のグループ）。僕たちは同じく北海道に行く学生一人（彼女は千歳に行くそうだ）と一緒に2時には羽田空港に着いた。だけど飛行機の時間は4:15だったからかなり時間があいてしまった。 5時半に飛行機から下り、それから中川先生の車で宿舎まで行く。宿舎に着いたときにはもう7時過ぎだった。（日本では宿舎のことを寮と呼ぶそうだ）中川先生は僕に寮長と、管理人の先生2人を紹介してくれた。みんなすごく優しそうで、僕にどうやって部屋を使うかとか、ゴミ分類、お風呂、洗濯、その他日常生活のことについて色々と教えてくれた。部屋は結構広かった（下の写真をご覧下さい）。ゴミも分類するようにとは言っていたけれど、実際は電池と金属製品を指定されたところに置けばいいらしく、あとは札幌市指定の黄色いゴミ袋の中に捨てて置けば、毎週火曜日と金曜日に回収する人が来てくれるらしい。日本の学生はみんなで一緒にお風呂に入るのが好きみたいで、昨日早速先輩何人かと一緒に入ってみた。なかなか良い気分だったよ！先輩が、もし大勢で一緒にお風呂に入るのが嫌いなら、シャワーを浴びてもいいとのことだった。それか夜9時を過ぎれば洗う人が少なくなるからそのときに入ればいいと。洗濯に関しては自分で洗剤やら液体洗剤を用意する必要はなくて、僕たちはただ指定された袋の中に汚れた衣服を入れて、それを決まった場所に置いておけばいいのだ。そうすれば宿舎の方が代わりに洗ってくれて、そのあとまた決まったところに干しておいてくれるから、少しして取りに行けばいいのだ。すごく便利だよね。寮長が先輩1人と同級生を2人紹介してくれた。吉田翼と森考晃とそれから中釜尚人。彼らは更に色んなことを教えてくれて、もしわからないことがあったら、なんでも聞いてくれと言ってくれた。それから初日に一緒に学校に行くことも約束してくれた。あと中川先生が僕の担任の先生となる大東先生からの手紙をくれたんだけど、その手紙の中で先生は僕のことを歓迎するという言葉と一緒に定期も同封してくれた。宿舎の食堂は6日間はお休みなので、その6日間学生は自分でご飯をなんとかしなければいけない。けれど僕は留学生なので、立命館学校がこれから毎月僕に週末の食費として2万5千円支給してくれる。それで自分で何か買って食べろということなのだ。ちょっと計算してみたんだけど、1ヶ月で休日は8日前後。その毎日3度食事をしたとして、全部で約25食程度。そうすると一回の食事で1000円ものごちそうが食べられるという計算になるんだ！なんて太っ腹な学校なんだろう！でもまぁどちらにしろ、きっと節約して使うだろうから、安心して下さい。 僕は4日土曜日にこっちに着いたんだけど、日曜日と月曜日の授業が入れ替わったから、日曜日に授業があった。だけどその日僕たち高1はマラソン大会で、先生が僕がまだ来たばかりだし、休んでもいいよと言ってくれたので、日曜日も月曜日も休むことにした。火曜日から学校に行きます。

馬 寧さんの日記

前進あるのみ！

2010.09.18

うちの宿舎に中国人留学生の兄さんがやってきた。名前は邹林。彼は自費留学生で中々自立心の高い人。大連出身で家も中々のお金持ちらしい。立命館で1年間勉強するのに20万元払わなきゃいけないって言うんだから、彼ん家がどれだけすごいか分かるでしょ。彼はお父さんが日本人らしいんだけど、聞くところによるとどうやら日本が嫌いみたいで、お母さんが中国人だから中国国籍に入ったらしい。暇なときは僕とおしゃべりしたいと言ってくれて、また僕になにか困ったことがあったら力を貸してくれるとも言ってくれた。彼は手品が得意で、よく一緒に遊んでくれる。結構いい感じに付き合えてるよ。 先週の日曜日（9月12日）、日曜日は食堂が閉まるから、僕は彼と一緒に宿舎の近くにあるスーパーマーケットに行った。そこには僕もよく行くんだけど、なにが美味しいのかいまだに分からない。それに対して彼は日本に来てもう1年だから、結構色々知ってた。そんな彼の指導の下、昨日僕たちはトマトと卵の炒め物を作った。それからから揚げと、出来合いのうなぎ。彼は料理がすごく上手くて何を作っても超美味い。その料理の腕には本当憧れるばかり！ちなみに材料費は割り勘。以前なら高くて買えなかったものも、今なら何でもokなんだ！ 彼は宿舎にネット開通の申請をしていて、今週の金曜日（9月17日）の午後に取り付け、夜にはもう使えるようになっていた。彼と相談して、ネットの費用も互いに半分ずつ出すことにしたのだが、彼が言うには、彼がいつもネットを使うのもゲームをするくらいで、あとはそんなに重要なこともないらしい。僕が中国の家族にメールを送ろうとすると、彼はすぐに僕に使わせてくれて、しかもお金は要らないと言ってくれた。僕はまだお金を払わないとは言っていない。だって誰のお金でもそんな、天から降ってきたわけではないし、自分にお金があるうちは人に頼っちゃいけないと思うんだ。そうだろ？今週末にはみんなと話が出来るんだよね！楽しみだなぁ！ あとは宿舎に住んでいるからか、すごく孤独に感じる。このままひたすら待つなら、冬休みにならないと日本人の家にホームステイすることが出来ない。だから僕は担当の先生にweekend homestayの申請をした。週末だけホームステイ留学。まぁつまりは週末だけ日本人の家に泊まるんだけど、相手の日本人と僕がお互いに1、2ヶ月適応する期間を設けて、もしその後お互いが相手に対して満足していたら、長期のホームステイが決まり、言い換えればそれから後は毎日その人の家に住むことになるのだ。だけどこの申請をしてもすぐにホームステイが始まるわけではなく、また全校で募集をかけ、学校の審査を通らないとだめなのだ。だから今月一ヶ月は確実に寮生活というわけなのである。でも邹林兄さんがいるから、宿舎でも楽しいんだけどね。先生に可能性はありますかって聞いたら、なんとも言えないって言われた。でも出来るだけ尽力してくれるそうだ。冬休みには絶対にホームステイ出来るから、心配しないでと。 次にみんなからの質問に答えようと思う。 僕たちの学校では専用の定期券（中国でいう月票。だけど日本では半年単位で発行される）を使うことになっていて、それのお金は学校が出してくれている。僕は毎日宿舎から5分ほど歩いて駅に行き、それから10分くらい電車に乗ってスクールバスの停まるバス停へ向かう。そして15分バスに揺られ学校に着く。全部で30分くらいかかるかな。そんなに遠くない。7時半に友達と出発すれば間に合うから。 宿舎には専門のおばさんが僕たちの服を洗ってくれる。粉末洗剤と液体洗剤は宿舎の方で用意してある。お風呂は全体的にすごく便利。食堂のご飯は最初のころはちょっと慣れなかったけど、今はだいぶ慣れてきた。結構美味しいんだよね。ただ前はかなり好き嫌いが多かっただけで。結構いい宿舎なんだけど、規則が2点ほど良くないなと思う。ひとつは夜、必ず食堂で9：00から11：00まで勉強しなきゃいけないこと。そのせいで僕はいつも4時ごろ学校から帰ると真っ先にベッドに倒れこんで爆睡しちゃう。そうしないと夜とてもやる気が起きないから。あとひとつは日曜日に食堂のおばさんがお休みで、なんも食べるものがないということ。でも今は邹林兄さんがいるから、なにも問題はない。 学校の授業は日本の国語（本当に全く聞き取れないから）に出席しないのを除いて、他の科目は結構いい感じです。特に理数系の授業は、中国のとほぼ同じような内容だし、知識に関する内容が多いから、勉強しててあまり苦にならない。特にここで言っておきたいのが先週初めて参加した体育の授業。僕は不運にも3600メートル走に当たってしまった。辛かったけど、息を切らして脚を引きずりながらもなんとか走り終えたよ。途中で諦めることも考えたんだけど、最終的に何とか自分に打ち勝った。結果としての記録はそんなに関係ない。重要なのはその課程なんだ。走り終えた後のあの達成感は本当になんともいえないものだったよ。 学校で僕の担当をしてくれてる大東先生（女性）は僕にとても良くしてくれてる。僕のことをすごく気にかけてくれるし、なにか頼めばすぐに応えてくれる。他の先生方も何か分からないことがあったら遠慮なく聞いてくれと言ってくれた。先生方はみんなこの中国から来た留学生である僕に良くしてくれてる。クラスの男子は最初はちょっとよそよそしかったけど、最近はだいぶ慣れてきてくれて、一緒に話をして笑ったり、ということも増えてきた。女子は僕がクラスに入ったときから親切にしてくれて、頭の良い子が僕に問題を教えてくれることもあるんだよ！それから2人同じく留学生の友達も出来た。一人はアメリカ人で、もう一人はスペイン人。2人とも日本語が出来る。留学先で感じることはみんな同じで、僕たちはよく一緒に話をしたりしている。クラスのみんないい人ばかりだよ！ 最後に僕が言いたいのは、最近ずいぶん忙しくなってきて、寂しくなることがなくなった。だからお父さんお母さんそれからおじいちゃんおばあちゃん安心して。今回の留学は僕の両親にしても僕自身にしても一つの試練で鍛錬であると思うんだ。僕は今回のこのチャレンジを受けて立とうと思っている。ぶっちゃけ先週は寂しくて思わず泣いてしまったり、中国に帰りたいと思ってしまったりもしたけど、それでも僕は最後まで頑張って頑張りぬくしかないと思うんだ！

馬 寧さんの日記

2010年9月25日留学日記

2010.09.26

日本の学生は放課後などに好きな活動に参加します。――日本人が部活、とよぶ活動です。僕は立命館の弁論研究部に入りました。この部は言葉による表現力を鍛え、スピーチなどを行います。先生から、以前の心連心の留学生たちはみんなこの部に入っていて、口語能力が飛躍的に伸びた、と聞きました。僕もそれを願って入部したのです。 それと、立命館国際委員会の先生が僕を札幌国際大学サークルの外国人スピーチコンテストに推薦してくださいました。今年の11月26日に行われます。参加者は大人から子どもまでいますが、日本語の優劣で競います。最高賞金は2万円です。しかも参加者全員に交通費が出ます。僕もエントリーしました。去年は心連心の先輩が優勝したのだとか。僕もいけるかな。ハハ。自信はあります。 今日は体育でサッカーをしました。僕は今日が初めてです。おかげでさんざんでした。中国に帰ったら、絶対お父さんに教えてもらわなくちゃ。なかなかうまいんだって、聞いているので。 10月の活動報告をします。立命館では毎年、日本の学生の平和理念を培う活動を行います。広島・長崎の原爆記念館を参観したり、被爆者の体験談を聞いたりするのです。10月27日から3泊4日で行われます。 ちょっと余談ですが、今朝NHKのニュースで中国河北省石家庄の国家安全機関が軍事施設で撮影を行った4人の日本人を拘束したとのニュースが報道されました。また、日中関係に緊張が走りそうですね。せっかくこの間、両国首脳が会見を持てたばかりなのに、水の泡になりそうです。日中関係に関して、心配が絶えません。 今日の最後の授業は英語でした。テストがありましたが、この内容が、僕がこの学校に来る前のものだったので、受けなくてもいいといわれていましたが、ためしにやってみたら、60満点中40点とれました。周りの日本人はみんなびっくりしてましたよ。この三年、ちゃんと英語を勉強していなかったのに、こんなにできて、自分でもびっくりです。ハハ！ 先日の数学の小テストでも満点をとれました。よくやった、とほめてもらいましたよ。中国人としての面目を施したかな。これからも頑張るぞ！

馬 寧さんの日記

2010年9月29日の留学日記

2010.10.09

今週のディベート部の活動について少し。このディベート部には日本人の中でも話のうまい人達が集まってる。だから今やってるディベートの内容も4分の一くらいしか理解できないけど、いつか部の皆に見直してもらえるように頑張ろうと思う。 月曜日は化学実験。グループで中和滴定の実験を成功させた。僕は数字を読む担当。一回失敗したけど、改善を重ねて最後には成功させることができた。すごく興奮したよ。皆の団結の賜物だからね！日本人は実験の時皆白衣を着るんだ。安全面にすごく気をつけているよね。 月曜の夜、寮に帰る途中で雨に振られた。北海道は雨と一緒に強い風が吹く。火曜日は徹底的に雨！朝から晩まで降り続いた。しかも大雨が。ザザザザーと窓も音を立てていた。「一场秋雨一场凉（秋雨が降る度に冬が近づく）」とはよく言ったものだ。 僕の食欲。昨日の夜カレーを食べた。山盛りのご飯。食べきれるわけないだろうと思っていたのだけど、意外にも食べきってしまった。特に体がおかしいということもないのだけど、今後は節制しないとね。変だなあ！こんなことが続いたら太っちゃうよ。 数学・物理・化学は中国のものと大して変わらないので今のところいい感じだ。今日の数学の小テストではクラスで唯一10点満点をとった。クラス全員の前で先生に賢いって褒められたんだ。頭はよくないと思うけど、努力を続ければ必ず報われるってことは信じてる。立命館は英語に力を入れているんだ。クラスメートと交流してみた感じでは、僕の英語力はクラスで真ん中くらいみたいだ。まだ希望はある。だから今鬼のように英語を勉強してるんだ。帰国するころには英語も少しは上達してるかな。政治と歴史は選択授業と割り切ってる。でも真面目に聞いてノートをとってるよ。先生に、12月の試験は理科系科目だけ受ければいいと言われた。体育は今週から柔道だ。楽しみだな。

馬 寧さんの日記

2010年10月6日の留学日記

2010.10.09

先週の単語テスト、クラス唯一の満点だった。先生は僕のことを見習うようにとクラスの皆に言っていたよ。それからここ何回かの数学の小テストも全部満点。皆に頭いいって褒められたんだ。実は日本の数学ってすごく簡単なんだ。しかも先生の話し方もすごくゆっくりだから僕も理解しやすい。英語の授業ではアメリカ人の先生に教科書を朗読させられた。僕が読み終わると、すぐに拍手をしてくれたんだ。発音がうまいって。僕の日本語の先生に聞いた話だと、彼は立命館の中でも一番中国に興味のある先生なんだって。機会があったら話してみたいな。 寮の生活にももう慣れたよ。部活に勉強に、毎日とても充実してる。 10月27日～10月30日の間「立命館平和研修」というのに参加するんだ。 僕は長崎へ行くよ。それから立命館アジア太平洋大学と鹿児島県を見学する。あっちの気温は先月の北海道より暑いらしい。夏服を持っていかないと。27日の朝飛行機で羽田空港へ行って、大分行きの便に乗り換え。午後から研修だよ。夜は別府で温泉に入るんだ。28日の午前も研修で、午後に電車で長崎へ。夜は和風旅館で日本の文化を体験。29日午前に長崎市内を見学してお昼に舟で鹿児島へ行く。夜は鹿児島に泊まるんだ。30日の午前に平和祈念館を見学、午後鹿児島から飛行機で羽田へ、羽田から北海道へ帰る。今回の修学旅行には全学年の学生と先生皆で行くから安全面の問題はない。全部で57500円。このお金は基金会が出してくれる。 これは本当にいい機会だ！日本の南方の雰囲気にも触れることができる。きっと、南の方と東京と北海道、どこも全然違うんだろうな。そうしたら日本の南北両方行ったことになるや。

馬 寧さんの日記

2010年10月16日の留学日記

2010.10.16

今週はスウェーデンの留学生と一緒に札幌の名所を色々見に行った。北海道の旧庁舎、大通公園、時計台などなど。更に 茶道を体験したり、和服を着たり、折り紙を教えてもらったりした。折り紙では和服を折ったのだけど、とても面白かった。スウェーデンの友達もできた。スウェーデンで中国語を2年間勉強していたらしい。彼女も彼女のお父さんも中国の文化にとても興味があるそうで、話がとても盛り上がった。メールアドレスも教えてくれたし、ヨーロッパの友達がまた一人増えた。社交性がかなり上がってきたぞ。 それから中国語講座。僕の木曜日の講座がなかなか好評だ。担任の先生に、僕がこんなに教師に向いているとは思わなかったと言われた。教え方が生き生きしていて、分かりやすくて、とても良いって。クラスの皆も、「中国語は難しいけど講座のおかげで基本的な日常用語を覚えられた」「速度がちょうど良い」「次も絶対参加する」と意見欄に書いてくれた。とても嬉しかった。僕はきっと優秀な教師になる素質があるんだ。頑張ろう。もしかしたらいつか本当に中国語教師になっているかもしれない。

馬 寧さんの日記

立命和平研修感想

2010.10.31

幸運なことに学校主催の立命和平研修に参加することができた。この得難い機会にたくさんのことを学ぶことができた。 一日目はまずAPU、立命館アジア太平洋大学を見学した。とても国際色豊かな大学だ。まるで地球村のよう。各国の文化が集まっている。現在の政治経済はグローバル化し、世界の一体化が進んでいる。この大学の校風は非常に現代の流れに沿っていると思った。学生の多くは英語と日本語の二ヶ国語が話せる。羨ましい。学生と二時間余り交流をしたが、皆とても積極的で、温厚で、理知的だった。将来はこの大学に入りたいと思うほどに。 二日目は長崎の原爆資料館を見学した。四日目の知覧特攻平和会館での体験も交えて話したい。衝撃的な写真から、辛く悲しい歴史を垣間見、そして現在の一触即発の日中関係を思った。日本の起こした侵略戦争は、東アジア各国の民にぬぐい去れない痛みと傷を残しただけでなく、日本の国民自身にも消えることない苦しみを与えた。原爆によって命を落としたのは皆一般市民だった。彼らは、父親であったり、兄であったり、母に守られる息子であったりしただろう。この血の歴史は、両国の国民に戦争の恐ろしさと平和の尊さを教えた。両国国民は、皆戦争を怨み、平和を望んでいる。互いを知り、発展をしていくならば、必ず平和な環境が必要なんだ。それなのに世界には紛争が絶えない。そして今、僕達の住む東アジアの平和も揺らぎつつある。でも、平和と発展が世界の求め続けるテーマだ。中国は経済、エネルギー、環境保護などの方面で日本と協力していかなければならない。日本が国際的な発展をするには、中国のような新しい大国の支持が必要になってくる。今中日関係は非常に敏感な時期ではある。でも、困難な時であればあるほど、両国の未来を担う僕達、天真無垢な青少年が、交流を拡大し、理解を深め、将来の両国関係の発展の基礎を築かなければならないはずだ。それが時代が求め、人々が望むことだろう。この11カ月の留学生活、この目標のために努力していきたい。 三日目は長崎市内の見学。グラバー園と上浦天主堂を見学した。長崎は世界に開放された国際港だという。僕の故郷天津が連想される。天津もまた中国と西洋の文化が入り混じった都市だ。午後は維新故郷館へ。館内では、明治維新前後の歴史に関するものが展示されていた。それを中国の改革開放後の発展と結び付け、僕はまたたくさんのことを思った。日本がここまで発展できたのは、勤労で賢い日本国民が、世界の優秀な文化を日本の国情とうまく組み合わせ、それを自ら改造し日本文化の中に融合させることができたからだ。以前こんな論調があった。「日本には文化がない。日本の文化というのは全て他の国から学んだものだ。」と。確かに日本文化は世界の多くの文明の精髄を取り入れてきた。でも、命も惜しまず先進のものを学ぼうとするその精神こそが、日本民族特有の文化と精神なんではないだろうか。日本と比べ、我々中国に欠けているものは、この学習の二文字だろう。中国は昔から大国であるとの自負があり、そのために他民族の文化を学ぼうとしてこなかった。それが、中国の近代以降の没落と悲惨な歴史を産んだんだ。その時の日本は明治維新を経て、少しずつ発展の道を進んでいった。この時の中国は学ぶことの勇気と開放の決心で既に日本に負けていたんだ。そして中国は偉大な改革開放の過程の中で、今もなお何事にもおびえている。国家がその胸を広げ他民族の文明を受け入れる時、それは今までの歴史を見ても、必ず国が最も栄えている時だった。だから中国は、今の発展を持続していきたいのであれば、必ず謙虚に学び、開放していく勇気を持たなければならない。 この四日間の平和研修によって、平和、発展、学習という今まで自然と口にしていた単語の意味をより深く知ることができた。そしてそれはこれまでの日本生活の総括ともなった。最後に、このような得難い学習の機会を与えてくれた学校と国際交流基金に感謝します。これを機に、今後は皆さんの期待を裏切らないように、全力を尽くし、より一層努力していきます。

馬 寧さんの日記

自分にとっての挑戦

2010.11.07

　今週の金曜日、体育の授業の時、柔道を少し体験しました。痩せているので、とても苦手です。でも、先生も親切だし、クラスメートもやさしいし、とても面白くて楽しかったです。柔道は日本文化の一面を表していますね。今月の体育は全部柔道です。一生懸命頑ばらなければなりません。　そして、テレビでそろそろ中国で音楽会を行う日本の歌手中孝介さんを見ました。彼の独特な声が大好きです。彼も中国の若者の中でとても人気があるそうです。だから、かれが誘われて、中国に来て、たくさんの交流活動に参加しました。こんなことがもっと多くなるといいと思います。　ところで、昨日第２０回札幌国際大学外国人によるの日本語弁論大会に参加しました。準優勝を受けました。いろいろな国の人と競争して、最後に、やっといい成績を取りました。これからの日本語の勉強では、もっと自信がつきました。　今週は本当に有意義な一週間ですね。　そろそろ１２月の定期試験になります。勉強も、部活も、なにも、一生懸命がんばっていきます。　前へ進め！

これは日本語で投稿されたものです

馬 寧さんの日記

勉強シーズンと健康注意シーズンに入っていた！

2010.11.14

　今週はまたリラックスな一週間だと思います。でも、来週からはそろそろ来る定期試験を準備していきます。そして、今週の木曜日も全国の進研模試です。先生が受けたいかどうか僕に聞いてくれました。実は、ぼくは勉強が大好きです。しかし、中学校を卒業したばかりなので、試験範囲の知識は半分ほどまだ習ったことがありませんが、ちょっと無理だと思いますので、残念で断わります。幸い、一月２１日また一回進研模試がある予定です。これから、一生懸命頑張りますが、そのとき自分の実力を先生とクラスメートにあらわしたいと思います。　ところで、平和研修したあとで、風邪を引いてしまったせいで、今週はじめのころはあまり元気がなかったんですけれども、だんだん状態を調整しておきました。健康は大切です！体は大切です！これからもよく気をつけていきます。　以上の原因だから、テーマは＜勉強シーズンと健康注意シーズンに入っていた！＞になったのです。　特に、今週の柔道はまたとても楽しかったですよ。友達と一緒に練習して、柔道は本当に精神をリラックスすることもできるし、楽を探すこともできる運動だと思います。それと同時に、日本文化をしっかり体験しました。確かにいろいろ役に立っています。　ばねい：がんばって！　冬になって、心連心プログラムの先生と友達も体を気をつけて、中日友好を深めるために、がんばっていきましょう！

これは日本語で投稿されたものです

馬 寧さんの日記

感動された！

2010.11.20

　今週、冬靴を買ってきた僕は得がたく電車で学生訪問に来る二人の先生に会いました。先生を見たとき、まるで自分の家族のような感じがしました。時間がきついので、少し話しました。木曜日の正式訪問はもっと楽しみにしていました。　　木曜日の午後、先生は学校に来ました。部活、中国語講座、勉強、体調、また、困っていることなどたくさんの方面について私といろいろ話しました。先生は本当に優しいですが、一つの問題も感心している気持ちを与えてくれました。特に、先生は私の誕生日も覚えていて、プレゼントをくれました。珍しい３８人チームの写真と絵葉書です。本当に感動されました。ここで、もう一度誠にありがとうございます。　　金曜日に、立命平和研修最後の課題＿報告講演会が行われました。広島、長崎、京都コースの代表が別々発表しました。私も"私が見たい日本"というフォトエッセイコンテストの佳作賞を受けました。私のしっかりやった研修の成果を現すことができるだろう。こんどの立命平和研修はやっと無事に終わりました。でも、平和を作る道は私たちにとって始まったばかりです。これからも、平和の目標を達成するために、力を尽くしたいと思います。　　今週水曜日、定期試験の範囲が出ました。広いですけど、しっかり復習すれば、大丈夫だと思います。また、今度の試験は挑戦として、世界史と現代社会も受けます。去年の先輩は勉強がすごいと聞いています。たぶん先輩より下手ですけど、でも、先生たちに自分の努力を見せたいと思うばかりです。　　誕生日が経って、１６歳になりました。　　１６歳のわたしへ：がんばって！！！

これは日本語で投稿されたものです

馬 寧さんの日記

MVPを受けた！

2010.11.27

　先週、音楽のグループ発表会が行われました。以前音楽が苦手な私もグループの一員として参加しました。無事に終わっただけではなく、それに、ラッキなのはまた先生に一番努力した人MVPという賞を受けました。本当に意外のうれしかったことですね。先生は"馬君はじめのころはあまり上手ではないですけど、練習すればするほど得意になりました。がんばっているのがみえます。"とほめてくれました。そうですね。がんばるなら進歩があるというわけです。これからの課題はリコーダーです。以前全然やったことがない楽器ですよ。ぜひがんばります。　　去年の先輩はMESEという経済運営ゲームに参加して、全国優勝になったと聞いています。私も今年のMESEに参加したいです。だから、友達とチームを作って、申し込みました。先輩より頭があまりよくないので、たぶん最後にがんばることができないと思います。でも、ゲームを楽しんでいる過程は一番大切だと思います。３０万円の優勝賞金をめざして、今、興味津々にそれについて研究しています。　　来週、定期試験が来ます。先生もクラスメートも私の成績を楽しみにしています。ちょっと緊張感があるようですね。ぜひ実力を出して、がんばります。

これは日本語で投稿されたものです

馬 寧さんの日記

定期試験が終わった！

2010.12.05

　まず、今週の二つの"自然事件"を話します。　一つ目は木曜日の朝、震度３度の小さい地震が私が住んでいる白石区で起こりました。そのとき、ちょうど朝ごはんの時間です。机と椅子がちょっと動きました。ちょっと怖かったですね。以前、中国で地震というものは聞いただけですから。でも、防災の知識を身につければ、大丈夫でしょう。今度はいい経験じゃない。　二つ目は金曜日、暴風警報が発令しました。そのため、休校です。寮生がみんなとても楽しそうです。なぜですか。この日は試験ですよ。休校なら試験は次の日になります。また一日の復習時間があるので、みんな、かけうどんを食べました。この風習は中国と同じです。喜ぶことがあるなら面を食べます。　次に、定期試験の話です。全体的にいえば、やったのです。たぶん数学１は満点取ることができるかもしれません。現社はままですけど、世界史は中国史が半分ぐらいありますから、大丈夫だと思います。来週末、結果が出る予定です。どうですか。本当に楽しみにしていますね。つまり、自分の努力の成果です。　また、土曜日、MESEという経済運営ゲームの学習会を見に行きました。MESEというものはコンピュータでエコーペンという架空の商品を販売するシステムです。価格、生産量、宣伝費、設備投資費、研究開発費五つの量によって、できるだけ多い利益を作るためにです。聞くなら難しいでしょう。はじめて練習したのは負けてしまいました。でも、だんだんよくなると信じています。自信があるからです。ちょうど定期試験が終わったので、しっかり研究することもできます。　あと２週間は冬休みです。ホストファムリの家族はどうですか。いろいろ期待がありますね。

これは日本語で投稿されたものです

馬 寧さんの日記

試験が終わった、冬休みに近い！

2010.12.11

　今週の水曜日、初めにリコーダー（楽器）をやってみました。本当に下手です。手は意識の指令に基いて、自由に移動することができません。以前こんなものはぜんぜんやったことがないからです。ほかのクラスメートがみんな上手に音楽を出すものを見て、ちょっと感心していますね。でも、冬休みの時間でしっかり練習すれば、きっと上手になるだろうと信じています。　　また、先週定期試験の成績は次々に出しました。上手な科目もあるし、もちろん、ヤバイな科目もあります。では、次に掲げます。　　数学１、８３点　数学A、８８点　　物理１、７２点　化学１、５８点（一番低くて、恥ずかしい）　　英語OC、８８点　英語１、６６点　　現代社会、７３点　世界史、６０点　　まあまあですね。もう満足しています。次回は来年に３月の第４回定期試験です。これからもぜひがんばります。　　金曜日まで、柔道の練習はもう５週間になって、実技試験が行われています。二人がペアを作って、皆さんに習った技能を見せることです。柔道部の友達のおかげで、無事に完成してしまいました。最初のころはまた少し緊張していますけど、やればやるほどだんだん自信が増えていきました。来週は今年度の最終練習です。６回の機会だけで、ちょっと残念だと思う気持ちもあります。　　そろそろ冬休みです。それに、あと半月、お正月になります。皆さんはきっとホストファミリ楽しく過ごすことだろう。今、学校の先生も寮に住んでいる私のためにホストファミリを捜しています。結果はどうですか。楽しみにしています。

これは日本語で投稿されたものです

馬 寧さんの日記

お久しぶり！

2011.01.15

　お久しぶりですね。長く日記を書いていません。　冬休みは早かったね。もう終わりました。でも、家族のおかげで、有意義で面白くて楽しかった休みでした。一日、初詣もして、スキーをやりました。以前ぜんぜんやったことがない私にっとって本当にやばいです。スキーは思ったよりすごく重いです。家族のお父さんは運動家なので、いろいろ教えてくれて、いま、滑る、止まることはもうできました。昨日体育の授業もクロスカントリースキーでした。一回スキーを経験したので、とても楽でした。　二日は小樽へ遊びに行きました。本当にきれいな町です。店の建築は皆違います。北海道の歴史名所と呼ばれるんですよね。　この三週間、またたくさんの国際活動に参加しました。お正月会とか。”あなたは大学何年生ですか”と言う質問を聞いた後で、ちょっと悲しみと思いました。”実は、私は１６歳だけです。”と答えました。”ええ、信じられない。”皆こういいました。先生も大人っぽいと言ってくれました。あ、年寄りでもいいじゃない。　新学期はもう始まりました。また、授業、部活、活動などの昔の忙しい生活に戻りました。もちろん、やはり冬休みに戻りたいというきもちもありますけど、三月の春休みを目指して、今の高１の楽しんでいて、がんばりたいと思います。　最後に、冬休みのホストファミリーにありがとうございましたと言いたいと思いいたします。

これは日本語で投稿されたものです

馬 寧さんの日記

北海道新聞に載せた！

2011.02.05

　私は今週の木曜日に本校の「第二回　明日を語ろう～地球市民の集い～」という平和学習のディスカッションに参加しました。特に、名前と発言も北海道新聞に載せました。これは日本語で投稿されたものです

馬 寧さんの日記

弁論大会-がんばります

2011.02.17

　ほぼ７連休を過ごしました。課題も多いし、行事も豊かだし、ちょっと疲れました。　　先週の土曜日、学校の球技大会に参加しました。ドッチビーです。あまり体育が上手じゃない私は一生懸命がんばったのですけど、クラスは負けてしまいました。でも、ほかのバレーボールなどを見て、私はG組に一員というグループ意識が生まれました。いい運動だと思います。　　日曜日、札幌第６２回雪祭りを見に行きました。本当にすばらしかった祭りです。すべて世界各地からきた芸術家の作品でした。そして、世界各地からの観光客もたくさん来ました。特に、中国人です。世界はどんなに狭いねと思ったのです。　　そして、この２週間はずっと弁論大会の原稿を練習しています。今週の日曜日（２０日）出る予定です。聞いたことがある先生とクラスメートは感動されたと言われています。その上、冬休みのホストファミリーも見に来るそうです。ちょっと緊張していますよね。何度も練習したものですが、大丈夫かなと思います。あと何日間ですが、ぜひがんばります。

これは日本語で投稿されたものです

馬 寧さんの日記

やった！優勝しました！

2011.02.26

　先週の日曜日、札幌で開催された第１５回青少年意見発表大会に参加して、優勝しました。本当に以外のラッキーでとてもうれしかったです。　１２月からずっと一生懸命原稿を準備していて、発音をだんだん日本語らしい日本語に変えて、表現を聞き手にわかりやすくて感動させるように何回も何回も練習して、本当に疲れました。外国人として、日本語の弁論大会に出て、自分が言いたいことははっきり話せばいいと思いますが、優勝ということはぜんぜん考えたことがありません。たぶん内容と感情は審査委員たちに感動させた一番大切な原因だと思います。　今度の題名は＜風を吹かせ　山を動かそう＞です。私が始めて登校した日、ちょうど中国漁船衝突事件の日です。私自身は日本人に本当の中国人の考えを伝えてあげる責任があると思ったので、中日関係についてのです。日本には、＜風は吹けども、山は動かない＞と言うことわざがありますが、逆みたいですけど、実はあっているのです。主な内容は歴史の見方で中日友好交流のことと戦争のことを振りかえて、私が長崎と広島の二つの被爆都市を訪問したことについて、いろいろ議論して、交流だけは幸せをもたらせるという結論が出ました。　現場で涙を泣いてしまった方もいるそうです。みんなが自分の考え方を理解してくれて心から喜んでいます。今度の経験は日本留学生活のもっとも忘れがたい思い出といえると思います。そして、優勝できるのも弁論研究部の部員たちがたくさん指摘してくれるのおかげです。ここでどうもありがとうございました。これからも精一杯弁論研究部の同士と一緒にがんばりたいと思います。　ところで、今週のクロスカントリーは先週より2分あがっているのです。とても楽しかったです。来週は最終の一回です。もっといい成績を取りたいです。　ぜひがんばります！

これは日本語で投稿されたものです

馬 寧さんの日記

被災者の皆さんのご無事を祈ります！

2011.03.13

3月11日、日本でマグニチュード8.8の地震が発生した。心連心の38人の生徒が皆無事だという報せを見てとても嬉しかった。でも、被災されている日本人の方たちのことはとても心配だ。 テレビの報道では、被災地は停電していて、放射能が漏れだす恐れのある地域もあるらしい。日本人の方々の気持ちがよくわかる。中国も2008年に悪夢のような四川大地震を経験したばかりだから。当時一番最初に中国に救助隊を派遣した国が、日本だったことを僕達は忘れることができない。 中国は恩に報いるということをよくわかっている。中国政府が今日15人の国際救援隊を派遣することに喜びを感じる。彼らが中国人民の代表として一人でも多くの日本人を助けられると信じている。 中国人は恩に報いるということを更によくわかっている。日本の危機に、僕は億万の中国人の一員として、日本赤十字会に募金をした。僕一人の力は取るに足らない僅かなものだけれど、もしもっと多くの中国人留学生が手をあげれば、それはきっと大きな力となって、日本人の助けになり、励ましになると信じている。 「一方有難、八方支援（ひとつ処に難事があれば、あちこちから救いの手が差し伸べられる）」。これは日中両国共通の道徳観だ。困難の前では、愛は思想や国境を超える。皆地球村の一員なのだから。愛があれば必ず困難に打ち勝てる。愛だけが力を生む事ができる。 最後に、被災した方々のご無事と、偉大なる日本人の皆さんがこの無常な災害に打ち勝ち、世界に奇跡を与えてくれることを祈ります！そして、第一線で戦っている全ての英雄のみなさんに心から敬意を表します！

馬 寧さんの日記

戻ってきました！

2011.05.14

　やっと日本に帰ってきました。ちょうど北海道の桜に間に合ったのです。

　一ヶ月だけですが、とても新鮮な感じがしました。いろいろな習慣にもう一度慣れなければならない。一番喜ぶのは二年に入って、一年生の先輩になりました。挨拶してくれる人もいます。これから、先輩らしくしっかりがんばります。

　帰る前に、”日本は危ないから、行かないほうがいい”など反対の声もありますけど、また日本に戻りたいと思います。日本は地震（じしん）が多い国だけでなく、自信（じしん）もたくさんある国になるはずだと思っています。私たち中国人は、日本がいいときにすぐ来て、日本が困難のときにすぐ逃げる人ではありません。こんな厳しいとき、いっしょに乗り越えるという国際的な協力はもっとも大切なことだと思います。外国人の一員として変えることだけでは、”信頼”を表しています。ですから、今度の目的は、日本人に信頼を与えるのです。👍

これは日本語で投稿されたものです

馬 寧さんの日記

モエレ沼公園きれいなあ！

2011.05.21

先週日曜日（５・１５）、僕は札幌市のモエレ沼公園へ行きました。モエレ沼公園は、「札幌市環状グリーンベルト」構想の北部系緑地の核となる都市公園です。以前はゴミ処理場として利用しましたが、1982年（昭和57年）から公園造成を開始して、彫刻家イサム・ノグチが計画に参画し、2005年7月1日にグランドオープンしました。

ちょうど桜のシーズンでした。お花見もしました。気持ちがいい感じばかりです。ちょっとその日の写真を皆さんに見せます。

ところが、今週の音楽授業で <We are the world> という歌を歌いました。日本人のクラスメートと一緒に歌ったことだけで、国際的なパワーを感じました。みんな真剣にやったからです。本当にいい声なあ♪と思いました。

来週、午前授業が多いので、リラックスできる一週間だろう。さあ、がんばっていきましょう！😛

これは日本語で投稿されたものです